

令和 6 年度

年間授業計画

教科

数学

科目

数学Ⅲ

教科： 数学

科目： 数学Ⅲ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者：	E組 金澤 悟 F組 金澤 悟 G組 金澤 悟								
使用教科書：	高等学校数学Ⅲ								

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数式的に解釈したり、数式的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発見的に考察する力、数式的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数式的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
関数・極限・微分法・積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数式的に解釈したり、数式的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	関数・極限・微分法・積分法を使って課題を効率的に解く方法を考え俾表現する力を身に付けるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数式的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単 元 1 第 1 章 関数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数式的に表現・処理できるようにする。	分数関数 無理関数 逆関数と合成関数	関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数式的に表現・処理できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	関数について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができるようにする。	教科書・ワーク	関数について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数式的根拠に基づいて判断しようとしたりできるようにする。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数式的根拠に基づいて判断しようとしたりできる。				
	単 元 2 第 2 章 極限	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	極限についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数式的に表現・処理できるようにする。	数列の極限 無限級数 関数の極限	極限についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数式的に表現・処理できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	極限について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができるようにする。	教科書・ワーク	極限について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数式的根拠に基づいて判断しようとしたりできるようにする。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数式的根拠に基づいて判断しようとしたりできる。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説						
	単 元 3 第 3 章 微分法	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	微分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数式的に表現・処理できるようにする。	導関数 色々な関数の導関数	微分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数式的に表現・処理できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	微分法について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができるようにする。	教科書・ワーク	微分法について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数式的根拠に基づいて判断しようとしたりできるようにする。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数式的根拠に基づいて判断しようとしたりできる。				
	単 元 4	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説						

令和 6 年度

年間授業計画

教科

数学

科目

数学Ⅲ

教科： 数学

科目： 数学Ⅲ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者：	E組 金澤 悟 F組 金澤 悟 G組 金澤 悟								
使用教科書：	高等学校数学Ⅲ								

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発見的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
関数・極限・微分法・積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	関数・極限・微分法・積分法を使って課題を効率的に解く方法を考え俾表現する力を身に付けるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単 元 5 第4章 微分法的应用	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	微分法的应用についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できるようにする。	接線の方程式 関数の値の変化 方程式等への応用	微分法的应用についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	微分法的应用について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができるようにする。	教科書・ワーク	微分法的应用について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできるようにする。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできる。				
	単 元 6 第5章 積分法とその応用	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	積分法とその応用についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できるようにする。	不定積分 定積分 積分法的应用	積分法とその応用についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	積分法とその応用について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができるようにする。	教科書・ワーク	積分法とその応用について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできるようにする。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできる。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説						
	単 元 7	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単 元 8	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説						

令和 6 年度

年間授業計画

教科

数学

科目

数学Ⅲ

教科： 数学

科目： 数学Ⅲ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者：	E組 金澤 悟 F組 金澤 悟 G組 金澤 悟								
使用教科書：	高等学校数学Ⅲ								

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
関数・極限・微分法・積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	関数・極限・微分法・積分法を使って課題を効率的に解く方法を考え俾表現する力を身に付けるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単 元 9 第5章 積分法とその応用	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単 元 10	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単 元 11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単 元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説						